

第4回 区行政のあり方懇談会（平成28年12月7日）における主な意見

方針(4章)について

- ・現在の16区の区割りをどうするかは重要。区割りを変更することになったら、計画期間中でも方針を見直す必要がある。
- ・特別自治市の制度が作られるとか、総合区といった問題が出てきたときには、16区がいいのかどうかという議論があるかもしれない。
- ・数値が出せるなら出したほうがいいと思うが、出すとしたらこの3つだけなのか。3つの柱に沿っているのはわかるが、もう少し書けることがあるのではないか。

方針(5章)について

- ・区民会議は今年度から全区で立ち上がっているが、中区と名東区の例だけ紹介する形でいいのか。例えば昭和区の若者会議の事例などは面白い。制度改革の一環で作ったのだから、資料などで各区の状況を添付できるとよい。
- ・地域包括ケアシステムについては、それぞれの区の特性に基づいて、区が責任をもって進めていく政策が望ましい。それがわかる形で方針に書ければよい。
- ・区長の直接予算要求権については、説明責任が生じるので議会への説明をどうするのか。基本的に区長は議会に出ていないので、その点の整理が必要。
- ・区長の直接予算要求権を期限も入れて方針に打ち出したことは、これまでより具体的一歩を踏み出したということด้วย。